

# 新型インフルエンザの 診療に関する研修

今後発生が予想される  
病原性の高い新型インフルエンザに備えて

2009年には、新型インフルエンザ(A/H1N1)が世界的な大流行となりました。

また、近年では、東南アジア等を中心に、高病原性の鳥インフルエンザ(H5N1)のトリート感染が報告されています。

今回、新型インフルエンザ(A/H1N1)に対するわが国の対応を振り返るとともに、鳥インフルエンザ(H5N1)の流行状況や症例報告等をもとに、今後発生が予想される病原性の高い新型インフルエンザの診療に関する課題について研修を行います。

- 【日 時】 2011年11月6日(日) 13:00~16:00(受付開始12:30)  
【会 場】 ベルサール八重洲(東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル2・3F)  
【主 催】 厚生労働省  
【共 催】 日本呼吸器学会  
【後 援】 日本環境感染学会、日本感染症学会、日本呼吸器ケア・リハビリテーション学会

【司会】 日本呼吸器学会理事／東京女子医科大学統括病院長 永井 厚志

■基調講演1 (講演20分、質疑10分)  
新型インフルエンザ(A/H1N1)の総括及び鳥インフルエンザ(H5N1)の流行の現状  
国立感染症研究所 感染症情報センター長 岡部 信彦

■基調講演2 (講演20分、質疑10分)  
鳥インフルエンザ(H5N1)の経験症例  
公益財団法人結核予防会複十字病院 診療アドバイザー 工藤宏一郎

❖ ❖ ❖ ❖ ❖ 休 憩 ❖ ❖ ❖ ❖ ❖

■今後の課題1 (講演30分)  
今後発生が予想される病原性の高い新型インフルエンザへの対策  
厚生労働省健康局結核感染症課 新型インフルエンザ対策推進室長 神ノ田昌博

■今後の課題2 (講演20分 × 2)  
病原性の高い新型インフルエンザ診療に求められる診療体制  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態機構学小児医科学 教授 森島 恒雄  
成田赤十字病院 感染症科部長 野口 博史

■総合討論 (30分)

# 新型インフルエンザの

# 診療に関する研修

■日時 2011年11月6日(日) 13:00~16:00(受付開始12:30)

■対象 病原性の高い新型インフルエンザ診療に従事する予定の医師、医療従事者等

■参加方法

参加は無料です。希望される方は、下記要領で電子メールにてお申し込みください。

<お申込先>flu-office@mhlw.go.jp

<件名>研修会申し込み

<記載項目>氏名、所属機関、職業、電話番号、メールアドレス

※事前申込制につき、定員(200名)に達し次第、締め切らせていただきます。

※いただいた情報は参加登録のみに使用し、その他の目的では使用いたしません。

■その他 参加者には、以下の単位が付与されます。

日本呼吸器学会専門医更新(2点)

■お問い合わせ先 日本呼吸器学会事務局(代行) TEL:03-5805-3553

■会場 ベルサール八重洲

<住所・電話番号>

〒100-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル2・3F

TEL:03-3548-3770

<最寄り駅>

○東京メトロ東西線・銀座線、都営浅草線「日本橋駅」A7出口直結

○JR、東京メトロ丸ノ内線「東京駅」八重洲北口徒歩3分



今後発生が予想される

病原性の高い新型インフルエンザに備えて